

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

上飯田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

上飯田地区：縦に細長い地域。地域活動が活発で高齢者サロンや子育てサロン、健康体操クラブ等の地域活動が活発です。地域で積極的に活動している世代が65歳以上の方々が多い。次代の担い手の発掘が課題。

上飯田団地：高齢化率が高く、地域の担い手も高齢者どうして支えあいながら活動をしています。高齢者サロン等の地域活動も活発です。また、連合自治会としての組織がしっかり成り立ち、自治会で見守り活動に力を入れています。市営団地という特性上、低所得者世帯や障がい者世帯の入居が増えてきています。また、住民から精神に障害のある方の対応方法がわからないという声も出ています。

いちょう団地：外国人が多く住んでいます。日本人の高齢化の問題も出てきています。いちょう団地内にあるコミュニティハウスを活動拠点として高齢者サロン等の活動が活発ですが、毎回同じ方々が参加している様子。今後地域活動広めていく事も課題です

(2) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ・上飯田子育てネットワークに参加し公園遊びの企画や地域のお祭りに子どもスペースの提供などを通して子育て中の親子に地域情報やイベント、地域の子育て支援者を紹介した。
- ・障がい児を対象とした余暇支援を企画し、夏季余暇支援活動を行った。また発達障がい児の親の会であるスナックルズに参加し、活動の後方支援と「広報よこはま」での啓発を行い、活動の普及・活性化に努めた。
- ・介護に関する事、介護保険に関する事、地域で開催されているサロンなど、あらゆる相談に応じ、可能な限りの情報提供を行った。

(3) 各事業の連携

- ・月に一度、5職種（所長も含めて6種会議）を行い、各部署ごとの動きや情報を共有し、連携を図った。
- ・また、各部署が連携して地域情報シートを作成し、情報を共有した。
- ・5職種会議以外にも、月末にケアプラザ全体で職員会議を行い、月ごとの報告と予定を全員で把握・共有した。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・今期も職員の欠員なく配置基準を満たした
- ・研修委員会を設置し、職員の資質向上を目的に7月・11月・3月に各研修を実施。また、各研修前に研修員会を開催し内容を精査した。研修終了後は報告書を作成し、各部署で回覧、情報の共有を図った。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・各地区社協主催の福祉祭りに模擬店を出店しケアプラザとして参加した。ケアプラザに関するPRを行い、ケアプラザの役割や内容について周知を行った。
- ・ヘルスメイトの方々と協力して、健康づくりに関する講座や料理教室を開催した。また、パパママ応援隊の方々と連携して子育て世帯を対象とした料理教室を年4回開催した。
- ・地域福祉保健計画の推進におけるチームの一員として参加した。
- ・日頃から地域の行事等に参加し住民と意見交換を行い、顔の見える関係作りに努めた。
- ・ケアマネジャー連絡会で民生委員との交流会を開催し地域福祉のネットワーク構築を図った。
- ・上飯田子育てネットワークを地域団体、関係機関と協力して開催し情報共有とイベントの企画を行った。
- ・上飯田地区で活動しているサロンの方々と体操教室の方々などを対象とした、カレーミーティングと題してかぼちゃの会の皆さんが作ったカレーライスを食べながらの地域活同団体交流会を開催した。団体同士の情報交換を行い、またサロンなどの活動の継続と発展について講演を行った。

(6) 区行政との協働

- ・上飯田町・上飯田団地・いちょう団地における地域福祉保健計画の作成・推進等、地域支援チームの一員として、定例の会議に出席し、意見を収集・集約し、各連携機関と情報を共有しながら計画を進めていった。
- ・高齢者見守り事業・認知症への取り組み・上飯田子育てネット・体力向上プログラム等を、協働で事業を展開した。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・毎週金曜日に「一番館ひろば」「カラオケ一番館」「かぼちゃの会」といった自主事業を行い、高齢者の居場所作りやコミュニケーションの場を提供した。また、年に二回ほど会食会を開催し、活動の活性化に努めた。さらに平成30年1月より一番館広場にて地域の障がい者支援施設のパンの販売を通して高齢者と障がい者の交流を行った（継続中）。
- ・パパママ応援隊と協力して年4回親子料理教室を開催した。「広報よこはま」で周知し、上飯田の地区に限定せず泉区全体に応募をかけ、新規の参加者を募って活動を活性化させた。
- ・年2回上飯田子育てネットワークと協力して公園遊びを開催し、子育て中の親子支援を行った。
- ・発達障がい児の親の会であるスナックルズに参加し、活動の後方支援と「広報よこはま」での啓発を行い、活動の普及・活性化に努めた。
- ・上飯田団地の集会場にて毎週水曜日に開催されているコミュニティカフェに参加し、運営の後方支援と参加者との関わりを通じて地域の情報を収集し、包括と情報を共有した。
- ・今年度から新しく「焼き芋」イベントを開催し、障がい者、高齢者、子育て世帯など、多世代交流を行った。特に日頃から地域との交流が希薄な障がい者と地域との交流を図った。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・貸館団体交流会を行い、交流を通してケアプラザの年末の大掃除を行った。また、始めに改めて貸館に関する規則やより有意義に使用して貰うための説明を行った。特に怪我をする恐れのある椅子のしまい方に関してはロールプレイを行いながら丁寧に説明した。
- ・福祉保健活動に対し、利用の規模が縮小してきた団体に対して活動のPRや共催事業の企画等、活動支援を行った。
- ・ヘルスマイトと共催で事業を行った。地場野菜を扱った料理教室と、成人病予防を目的とした料理教室を行った。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ボランティア名簿の整備・更新を行い、ボランティア希望者の活動内容等を考慮し活動場所の紹介を行った。
- ・「一番館ひろば」「かぼちゃの会」で活動しているボランティアと活動後に振り返りに時間を設け、今後の活動の展開について話しをした。
- ・上飯田地区の地域活動団体交流会を開催し、団体同士の交流の場や情報交換の場として設けた。また、各サロンの継続と発展について講演を行った。
- ・地域で活動している団体に出向き活動状況等の情報共有と情報提供を行った。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・会議のみならず、来館者や日常的な交流からも情報収集を行い、必要であれば包括と情報を共有し、地域の見守りの強化に繋がるように行った。
- ・地域のイベントに参加し介護等に関する情報提供を行った。
- ・ケアプラザの広報誌「いずみ一番館」を年4回発行しケアプラザの情報を地域に向けて発信した。
- ・ケアプラザでの事業を展開するごとにホームページの情報を随時更新し地域に情報を発信した。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- “地域アセスメント” や “住民の声”、または “地域福祉計画” などから各地区の目標を設定し、ニーズや課題に取り組んでいきます。
上飯田地区： 「移送支援サービス」の展開
上飯田団地地区： 「自由な居場所作り」
いちよう団地地区： 「居場所作り」と「アンケート」

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- アセスメントの結果、「移送支援サービス」の必要性を感じ平成29年6月より「食事会」に対し事業を展開。また「この取り組みを活用したい」と住民の方々から申し出があり、「敬老祝賀会」にも事業を展開。
- アセスメントや住民の意向から、「住民アンケート」を実施する事となり準備を開始した。

(3) 連携・協議の場

- 「移送支援サービス」における “定期的（毎月第3土実施）” な話し合いを “住民（民生委員）” と “運転ボランティア” さんとで実施（継続中）。
- 中間報告を中心とした “協議体（10/21実施）” を、“住民（民生委員）” の方々と “運転ボランティア” さん、その他関係機関の方と共に実施した。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 区域全体における課題である “担い手不足” については、泉区内の全ケアプラザが協力して取り組み、事業を展開することが出来た。
（「ducks」「いずみオトナ college」など）

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・ 地域の会合や定例会へ積極的に参加、新役員の方とも関係作りをし、地域とのつながりが持てた。
- ・ 包括の理解が足りない地域では、地区の会合への出席でパンフレットを配布するなどして周知に努めた。
- ・ ボランティア（キャラバン・メイト等）・サロン利用者との関係作り
地域の資源（*）を通じて認知症高齢者の発見につながり、泉区支援チームで事例

検討することができた。

* ヤクルト店、米屋、郵便局、薬剤師 等

② 実態把握

- ・ひとり暮らし高齢者で民生委員の関わりが薄い方の戸別訪問を行い、介護予防等教室へ繋げた。
- ・民児協やサロン等に参加し地域の方から情報収集したことで、初期認知症の方の把握が、以前よりスムーズに行うことができた。
また、把握した本人への見守りは続行し医療機関に繋ぐ等の支援をしている。

③ 総合相談支援

- ・身近な相談窓口として、関係機関や事業等につなぎ包括の啓発を行いながら相談対応した。特に認知症疑いの相談が増えており申請に結びつけた。また、医師の協力のもと、不安を取り除く相談会の実施や早期発見に結びつくよう周囲からの情報収集に努めた。
- ・住民相談会・出張相談会の継続
いちよう地区では役員・民生委員との情報交換の場とし、個別のケースの収集に役立った。
向ヶ原では向友会との情報交換、泉区薬剤師会との共催。 遠いエリアは、各戸へのポスティングや自治会館・店舗（スーパーなど）の掲示板を利用するなどお知らせの工夫をし、必要時の相談場所として情報提供した。
- ・見守りでは、上飯田団地のいきいきサロン、コミュニティカフェの高齢者やサービス利用のない高齢者（75歳以上）の個別相談、民生委員によるひとり暮らし高齢者見守りリストから把握できなかった高齢者の訪問支援、民生委員への情報提供、把握後のフォローを行っている

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ケアマネジャーや民生委員を対象に制度の活用に向けて「成年後見制度とは」の勉強会を行った。
後見人についても行政書士（成年後見サポートセンター）より周知した。
- ・区民向けの終活講座は、区と区内包括共催で開催。エンディングノートのリニューアル作成に取り組み、完成したノート活用に結びつけられるよう計画し大盛況だった。
- ・古い支度…ひなた山地区では自治会館で「自分らしく生きるために」と題し、支援員によるエンディングノートの書き方講習会を2月12日（月）に実施予定。いちよう地区でも希望有り、日程調整中。
- ・消費者被害の防止として高齢者を詐欺被害から守るために講座を開催した。被害に逢ってしまった時の身近な相談場所として包括を知ってもらった。
中村町内会（7/15） 中村町内会館 19名参加
泉警察署生活安全課より増加している振り込め詐欺の被害について
中屋敷地区（7/19） 中屋敷会館 21名参加
DVDでひとりひとりが気をつける未然防止について学び、気づきの説明会を行い、地域連携についても話し合った。

② 高齢者虐待への対応

- ・関係機関（医療機関・ケアマネ）からの情報から、ネグレクト等虐待の疑いのある高齢者に対し訪問対応し連携を図った。
家族からの通報は、区の担当者（CW・保健師）と連絡を取り合い同行訪問し対応。後見人の紹介、入所等 アドバイスしながら支援した。
- ・介護者の集い…第1回を11/25に開催、家族の不安・悩みを話し合える場として、今後は「しゃべりんぼ」の名称で2か月に1回、第4土曜日に開催する。

③ 認知症

- ・認知症に対する理解を広めるため認知症サポーター養成講座を実施、キャラバン・メイトの活動を支援しました。住民の理解が得られることで認知症の早期発見につながっています。福祉施設で開催しスタッフがキャラバン・メイト活動に関心を持ってもらうよう働きか、またスーパーに理解を得るべく働きかけて開催することができました。
小・中学校 173名、地域住民・福祉施設・スーパー 126名
- ・エリア内のキャラバン・メイト連絡会を年2回実施しました。
- ・脳いきいき教室の運営支援を行いました。介護予防講座やミニ講話等のプログラム支援、リーダーや担い手育成のため情報交換会・スキルアップ講座を行いました。
- ・認知症の対応の難しい場合には関係機関と連携し連絡を取りながら支援にあたりました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・介護保険制度や地域包括支援センター等の周知をはかれるよう、ケアプラザから離れている地域で出張相談会を開催しました。
- ・介護保険制度だけでなく、生活支援CO. が把握している地域のインフォーマルサービスの情報をまとめ、地域住民やケアマネジャーへ情報提供をしました。
- ・ケアマネと民生委員との顔の見える関係をはかれるよう、地域ケア会議での意見交換やケアマネ連絡会で『成年後見制度』についての勉強会を開催しました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ケアマネジャーが医療機関や調剤薬局との連携が進むよう、医療機関と調剤薬局の情報をまとめた冊子を更新し、ケアマネジャーに配布しました。
- ・ケアマネジャーに向けて、認知症や精神疾患等の医療に関する知識を高められるよう疾患についての理解とその対応方法についての研修を開催しました。
- ・医療と介護の連携が推進されるよう泉区在宅医療相談室の主催する事例検討会や研修会等に参加しました。

③ ケアマネジャー支援

- ・対応が難しいケースを担当するケアマネジャーが問題を抱え込まないように、3職種で対応し、ケースによっては同行訪問やカンファレンスの開催等、問題を一緒に解決できるように支援しました。
- ・ケアマネジャーの資質向上のため、事例検討会や課題整理総括表等の活用について等の研修会を概ね毎月開催しました。
- ・新任のケアマネジャーに向けて、区内の包括協働し、新任ケアマネ研修を開催し、介護保険サービスだけでなく、行政サービス、地域にあるインフォーマルサービス等の情報提供や、施設見学、他の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーについての実習を行う等、新任でも安心して就業できるように支援しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域ケア会議の個別のケースでは、中国残留邦人等のコミュニケーションが困難で地域から孤立しがちなケースへの支援についてと、1つの世帯の親子で支援が必要なケースについて、地域住民と専門職で支援策を検討しました。
- ・地域ケア会議の包括レベルのケースでは、地域の移送サービスについてと、エリアの団地の高齢者のゴミ出しの問題について地域住民と専門職で意見交換を行いました。
- ・泉区の地域包括支援ネットワークの構築をはかるため、泉区在宅医療相談室の主催する多職種による事例検討会や研修会等に参加し、多職種との連携の必要性を確認しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・高齢者が自立して意欲的に生活できるよう、また生活機能の維持・向上をめざして地域のサロンや介護予防事業等、案内してケアマネジメントの支援を行いました。
- ・ケアマネをはじめ担当者と共通の認識で支援し、ケアプラン作成についての助言やインフォーマルサービスの情報提供をして、適切なケアマネジメントができるよう支援しました。
- ・介護予防支援従事者研修を区内包括3職種と協力して行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・介護予防普及啓発強化事業として4コースを2回実施しました。コース終了後、1か所は自主化へ向けて立ち上げ体操教室として活動を開始。1か所は元気づくりステーション事業へつなげました。
- ・地域の活動グループや自主グループへの介護予防に関する講座・体力測定は継続して実施、またリーダーや担い手に対してスキルアップ講座および情報交換会を2回コースで行いました。
- ・もの忘れ予防・筋力低下予防を目的にふまねっと運動を継続して実施。自主化へ向けて元

気づくりステーション事業につなげ、「麦の会」として発足しました。

- ・「郷土の歴史を知る」ウォーキングを実施しました。散歩しながら地域の史跡や神社仏閣等を巡り、講師を務める人材の発掘につながっています。
- ・体力測定・体操・熱中症予防の話など取り入れた健康フェア、熱中症ミニ講話等の出前講座を実施しました。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

・設備や建物の劣化による部分を優先順位・緊急性に配慮し、優先順位にて実施し、及び定期的な保守管理を継続的に実施しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ケアプラザ全体を推進するために各委員会を設置し、分担と連携した効率的な運営を実施しました。
- ・研修委員会、感染対策委員会、避難訓練及び防災対策委員会、広報委員会、苦情及びご意見委員会、事故防止対策委員会等の委員会活動を行い効率的な運営が出来ました。
- ・法人本部で経理・労務業務を担い、業務に専念できるような運営を推進しました。

(3) 苦情受付体制について

- ・4部門（通所介護部門・居宅介護部門・地域交流部門・地域包括支援センター部門）それぞれに苦情受付窓口を設けました。
- ・窓口に設置してあるご意見箱の活用を利用者に周知し、ご意見箱の活用をPRしました。
- ・苦情委員会を設置し、頂いた苦情を検討し改善方法を検討して、全職員へ苦情と対応についてミーティング等で周知しました。
- ・年1回部署ごとに利用者アンケートを実施し、利用者からの苦情や意見を伝えられる場として機能させました。また館内に利用者アンケートの結果を公表しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・日常的に館内の巡回を行い防犯・防災を行いました。
- ・夜間や休館日は、機械警備に依頼して異常の早期発見に対応しました。
- ・特別災害避難場所として災害時における備蓄物を整備しました。
- ・AEDを設置し、緊急時に対応できるようにしました。
- ・自衛消防隊を組織し、年2回のデイサービス利用者・会場利用者も含めた避難訓練を実施しました。また、隣接する市営上飯田第二住宅との合同の訓練も行いました。
- ・館内に泉警察署からの防犯情報チラシを提示し、啓発活動を推進しました。

(5) 事故防止への取組について

- ・「事故防止対策委員会」を組織し、ヒヤリハット事例を検証し、全員で共有し事故を未然に防ぐ取り組みを進めました。
- ・「事故マニュアル」を作成し、事故発生時、適切に対応できるようにしました。
- ・職員同士の情報交換や朝夕のミーティングにおいて、経緯・内容等を報告し、改善・対応策等を協議し、情報の共有を図ることが出来ました。
- ・職員会議において事故防止に対する対策や研修を行い、危機管理の意識統一を図りました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・全職員に個人情報取り扱い事項を周知するとともに、個人情報保護に関する内部研修を年1回開催しました。また、中途採用職員に対しても、同様の研修を入職時に行いました。
- ・書類は直接事業所へ持参することで、誤配布を無くしました。
- ・個人情報の含まれるFAXを送信する時には、ご送付を防止するために二人体制で確認しながら行いました。

(7) 情報公開への取組について

- ・事業計画書・事業報告書は誰でも閲覧できるように窓口に掲示しました。
- ・指定管理者及び事業者として運営規定や重要事項説明書を館内に掲示し情報公開しました。
- ・ケアプラザ広報誌「いずみ一番館」を年4回季節ごとに発行しケアプラザ事業のPRに努めました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・年1回、権利擁護に関する研修を職員に向けて行い権利擁護の理解を深めました。
- ・館内に人権啓発に関わるポスターを張り、館内利用者に向けて啓発活動を行うことが出来ました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・花壇の植栽・館内の花飾りを地域住民と協力して行い、環境美化と景観に努めました。
- ・日頃から節電・節水を行い省エネに心掛けました。
- ・夏季は、ゴーヤ等を植えて緑のカーテンを作り館内の温度上昇を抑えて適正な室内温度が保てました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

兼任 1名 ・ 非常勤 2名

《目標に対する成果等》

- ・高齢者が自立して意欲的に生活できるよう、また生活機能の維持・向上をめざして地域のサロンや介護予防事業等、案内してケアマネジメントの支援を行いました。
- ・ケアマネをはじめ担当者と共通の認識で支援し、ケアプラン作成についての助言やインフォーマルサービスの情報提供をして、適切なケアマネジメントができるよう支援しました。
- ・介護予防支援従事者研修を区内包括3職種と協力して行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》



《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・高齢者が多い地域のため、自治会・民生委員と連携して孤立を防ぐよう支援します。
- ・地域資源等活用して高齢者が自立して生活できるよう支援します。
- ・入院者が退院するにあたり、在宅に向けて関係機関と連携して安心してらせるよう支援します。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
176	179	179	180	181	187
10月	11月	12月	1月	2月	3月
194	195	203	203	201	208

●居宅介護支援事業

《職員体制》

- 介護支援専門員 常勤 2 名

《目標に対する成果等》

- 信頼・安心感を与える介護支援の実施を行います。
- 事業所内・関係機関との連携強化及び専門技術の向上に努めます。
- 相談援助技術の向上、専門知識の習熟を目指します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特になし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
65	63	63	63	63	63
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
62	65	65	68	70	71

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 健康チェック（血圧・脈拍・体温・体重測定※月一回）
- 入浴・食事
- 日常動作訓練・レクリエーション（アクティビティ）等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 614円
 - （要介護2） 725円
 - （要介護3） 837円
 - （要介護4） 948円
 - （要介護5） 1060円
- 食費負担 750円
- 入浴費（1回あたり） 54円
- サービス提供体制強化加算 13円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:50 ～ 16:00

《職員体制》

管理者	1名	調理員	4名
生活相談員	2名	運転手（送迎）	4名
看護師	2名		
介護職員	9名		

《目標に対する成果等》

安全・安心に配慮しながら各個人のニーズに応えられるようにし、必要な援助を行いました。同世代との交流を楽しんで頂き、心身の健康を長期で維持できるように支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

毎回行う身体機能の維持向上のための運動の他、四季折々の行事を取り入れ、心身共に活性化していただけるように支援しました。

《利用者実績（延べ人数）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
316	344	353	362	347	341
10月	11月	12月	1月	2月	3月
367	351	339	307	296	332

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 健康チェック（血圧・脈拍・体温・体重測定※月一回）
- 入浴・食事
- 日常動作訓練・レクリエーション（アクティビティ）等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 （事業対象者） 1766円 ※週一回の場合
 （要支援1） 1766円
 （要支援2） 3621円
- 食費負担 750円
- サービス体制提供加算（一カ月当たり）
 要支援1・52円/要支援2・103円
- 運動器機能向上加算（1カ月）235円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:50 ~ 16:00

《職員体制》

管理者	1名	調理員	4名
生活相談員	2名	運転手（送迎）	4名
看護師	2名		
介護職員	9名		

《目標に対する成果等》

現状を維持しながら無理の内容に、今できる事を継続していけるよう心身ともに支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

運動器機能訓練を中心とした筋力維持・向上の運動を積極的に取り入れ、月一回の太極拳講師による体験も行いました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
9	9	10	11	13	13
10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	13	14	13	11	11

平成29年度「上飯田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,514,000	231,349	16,282,651	16,282,651	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	21,300	21,300	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	46,078	46,078	
印刷代	0		0	11,346	11,346	
自動販売機手数料	0		0	34,732	34,732	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	1,977,500		1,977,500	1,977,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	92,500		92,500	92,500	0	
収入合計	18,584,000	231,349	18,352,651	18,420,029	67,378	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,850,000	0	9,850,000	9,536,802	313,198	
本俸	6,500,000		6,500,000	6,978,356	478,356	
社会保険料	614,500		614,500	640,061	25,561	
手当計	2,600,000		2,600,000	1,811,125	788,875	
健康診断費	16,500		16,500	16,378	122	
勤労者福祉共済掛金	0		0	5,588	5,588	ハーフふれんど
退職給付引当金繰入額	105,000		105,000	85,294	19,706	
その他	14,000		14,000	0	14,000	
事務費	3,100,000	0	1,736,000	2,679,563	943,563	
旅費	30,000		30,000	4,860	25,140	
消耗品費	530,000		530,000	554,325	24,325	
会議謝礼金	0		0	0	0	
印刷製本費	315,000		315,000	256,000	59,000	
通信費	310,000		310,000	309,060	940	
使用料及び賃借料	0	0	0	8,400	8,400	
横浜市への支払分	0		0	8,400	8,400	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	80,000		80,000	446,869	366,869	
図書購入費	200,000		200,000	178,900	21,100	
施設賠償責任保険	156,000		156,000	182,840	26,840	
職員等研修費	100,000		100,000	13,330	86,670	
振込手数料	15,000		15,000	2,132	12,868	
リース料	0		0	0	0	
手数料	0		0	5,184	5,184	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	717,663	717,663	
事業費	542,000	0	542,000	334,252	207,748	
運営協議会経費	42,000		42,000	42,000	0	予算:指定額
指定管理料充当 事業	500,000		500,000	292,252	207,748	
管理費	4,304,000	0	4,304,000	3,448,270	855,730	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,423,000	0	1,423,000	1,300,199	122,801	
電気料金	363,000		363,000	338,052	24,948	
ガス料金	460,000		460,000	416,064	43,936	
水道料金	600,000		600,000	546,083	53,917	
清掃費	662,017		662,017	662,017	0	
修繕費	474,000	0	474,000	242,651	231,349	予算:指定額
機械整備費	281,045		281,045	281,045	0	
設備保全費	882,108	0	882,108	940,498	58,390	
空調衛生設備保守	118,664		118,664	81,910	36,754	
消防設備保守	62,455		62,455	33,336	29,119	
電気設備保守	81,285		81,285	81,285	0	
害虫駆除清掃保守	119,704		119,704	119,704	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	500,000		500,000	624,263	124,263	
共益費	0		0	0	0	
その他	581,830		581,830	21,860	559,970	
公租公課	788,000	0	788,000	762,944	25,056	
事業所税			0	0	0	
消費税	788,000		788,000	762,944	25,056	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	18,584,000	0	17,220,000	16,761,831	458,169	
差引	0	231,349	1,132,651	1,658,198	525,547	

自主事業費収入	500,000		500,000	0	500,000	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	500,000		500,000	292,252	207,748	
自主事業収支	0	0	0	292,252	292,252	自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	34,732	34,732	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	8,400	8,400	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	26,332	26,332	

**平成29年度「上飯田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,834,000	586,502	28,247,498	28,247,498	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	1,740,256	4,048,744	4,048,744	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	9,232	9,232	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	9,232	9,232	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,695,000		1,695,000	1,695,000	0	
収入合計	36,469,000	2,326,758	34,142,242	34,151,474	9,232	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,390,000	0	32,390,000	30,963,757	1,426,243	
本俸	17,627,000		17,627,000	17,749,043	122,043	
社会保険料	3,340,000		3,340,000	3,524,389	184,389	
手当計	9,200,000		9,200,000	9,005,611	194,389	
健康診断費	77,000		77,000	78,250	1,250	
勤労者福祉共済掛金	0		0	150,863	150,863	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	392,000		392,000	455,601	63,601	
その他	1,754,000		1,754,000	0	1,754,000	
事務費	1,343,000	0	1,343,000	1,193,350	149,650	
旅費	5,000		5,000	850	4,150	
消耗品費	308,000		308,000	147,352	160,648	
会議諸費	0		0	6,400	6,400	
印刷製本費	220,000		220,000	211,604	8,396	
通信費	300,000		300,000	168,547	131,453	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	10,000		10,000	0	10,000	
図書購入費	218,000		218,000	47,555	170,445	
施設賠償責任保険	156,000		156,000	48,602	107,398	
職員等研修費	110,000		110,000	108,282	1,718	
振込手数料	16,000		16,000	0	16,000	
リース料	0		0	0	0	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	454,158	454,158	
事業費	1,510,000	0	1,510,000	373,415	1,136,585	
協力医	630,000		630,000	105,000	525,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	420,000		420,000	64,636	355,364	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	52,779	256,221	予算:指定額
管理費	1,226,000	0	1,226,000	916,615	309,385	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	380,000	0	380,000	345,622	34,378	
電気料金	97,000		97,000	89,862	7,138	
ガス料金	123,000		123,000	110,599	12,401	
水道料金	160,000		160,000	145,161	14,839	
清掃費	175,977		175,977	175,977	0	
修繕費	126,000		126,000	64,498	61,502	予算:指定額
機械警備費	74,707		74,707	74,707	0	
設備保全費	275,640	0	275,640	250,001	25,639	
空調衛生設備保守	31,543		31,543	21,773	9,770	
消防設備保守	16,601		16,601	8,861	7,740	
電気設備保守	21,607		21,607	21,607	0	
害虫駆除清掃保守	31,820		31,820	31,820	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	174,069		174,069	165,940	8,129	
共益費	0		0	0	0	
その他	193,676		193,676	5,810	187,866	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二重対応費			0	0	0	
支出合計	36,469,000	0	36,469,000	33,447,137	3,021,863	
差引	0	2,326,758	2,326,758	704,337	3,031,095	

自主事業費収入	880,000			0		予算:指定管理料を含む
自主事業費支出	880,000			268,415		
自主事業収支	0			268,415		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			9,232		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			9,232		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名：上飯田地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位：千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護	
	収入	介護保険収入	2617	9008	26970	
その他		3040	531	10370	5474	
介護予防ケアマネジメント 費		3040	196			
事業・負担金収入					4006	
認定調査料				335		
自己負担金				8500	1468	
その他				1870		
収入合計(A)		5657	9539	37340	5474	
支出		人件費		7629	31400	5541
		事務費		141	1483	262
	事業費		336	5555	980	
	管理費		108	3330	588	
	その他	2865	0	492	0	
	利用者負担軽減額					
	消費税			77		
	介護予防プラン委託料	2865				
	減価償却費			415		
	その他					
支出合計(B)	2865	8214	42260	7371		
収支 (A)－(B)	2792	1325	-4920	-1897		

平成29年度 自主事業収支報告書

資料4-1

施設名 上飯田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
高齢者ミニデイサービス 一番館ひろば	高齢者・障がいのある方	¥21,777	地活	21777	¥1,700				¥23,477
	45回 延べ903名/年		包括						
	0円		生活						
カラオケ一番館	地域住民・高齢者・障がい者	¥34,320	地活	34320			¥20,000		¥14,320
	12回 延べ500名/年		包括						
	0円		生活						
記食グループ ぽちの会	独居高齢者・障害のある方	¥30,074	地活	30074					
	41回 延べ306名/年		包括						
	1食 450円		生活						
あやめサークル	中・高齢者	¥60,000	地活	60000					
	31回 延べ546名/年		包括						
	0円		生活						
ボランティア交流会 会食会	かぼちゃの会・一番館ひろば	¥12,600	地活	12600					¥12,600
	2回 80人		包括						
	0円		生活						
花と緑のケアプラザ事業	地域の方	¥40,000	地活	40000				¥40,000	
	年12回 120		包括						
	0円		生活						
会場利用団体交流会	会場利用団体		地活						
	1回 29人		包括						
	0円		生活						
ふれあい連絡会	地域住民	¥10,871	地活	10871				¥10,871	
	1回 35人		包括						
	0円		生活						
男の料理教室	男性		地活						
	6回 48名		包括						
	3200円		生活						
ジュニアフレンド事業	障がい児		地活						
	3回 延べ90人		包括						
	事業内容により異なる		生活						
上飯田団地いきいきサロン	上飯田団地 高齢者	¥25,864	地活	25864			¥10,000	¥15,864	
	年4回147名		包括						
	0円		生活						
明寿の会	地域の超高齢者		地活						
	6回 延べ30人		包括						
	0円		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

資料4-1

施設名 上飯田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
飯田キャラバンメイト連絡	上飯田地区キャラバンメイト		地活						
	1回 実施		包括						
	0円		生活						
出張相談事業及び 介護予防啓発	地域の方		地活						
	1回 20人		包括						
	0円		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

介護予防講座	高齢者		地活					
	10～20名		包括					
	0円		生活					
介護予防普及強化事業	65歳以上高齢者		地活					
	1コース 延べ110人		包括			¥135,000	¥16,000	
	0円	¥151,000	生活					
一歩の会	地域の高齢者		地活					
	年51回459名		包括					
	0円		生活					
漫歩クラブ	地域の高齢者		地活					
	年24回実施 517名		包括					
	0円		生活					
向友会	脳いきいき教室 ボラン		地活					
	延べ50人		包括					
	0円		生活					
脳いきいき教室支援事業	脳いきいき教室 ボラン		地活					
	延べ50人		包括					
	0円		生活					
地域福祉祭り 出展協力事業 (いちよう団地・上飯田団)	地域の方		地活	1373	¥19,600			¥20,973
	約200名		包括					
	実施内容により異なる	¥1,373	生活					
福祉講演会	地域住民		地活					
	依頼に応じて		包括					
	0円		生活					
焼き芋	地域住民		地活	19979				¥19,979
	年一回 200名		包括					
	0円	¥19,979	生活					
一番館ひろば 8月食事会	サロン参加者		地活	1788	¥1,700			¥2,988
	年一回17名		包括					
	参加費100円	¥1,788	生活					
ヘルスメイト	地域住民		地活	1043	¥3,000			¥3,483
	年2回29名		包括					¥560
	参加費200円(一回目は)	¥1,043	生活					
大人の散歩	地域住民		地活		¥2,800			¥1,232
	年2回56名		包括					¥1,568
	50円	0円	生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

資料4-1+A1:I22

横浜市上飯田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者ミニデイサービス 一番館ひろば	<p>(目的) 地域の概ね65歳以上が集まり、お茶や食事をしながら、社会交流を広げ、閉じこもり防止や健康づくりを目的に実施。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の場（お茶・おしゃべり） ・健康づくり（体操実施） ・食事会（バランスのよい食事確保） ・レクリエーション 	毎週金曜日 （特別日を除く） 計43回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カラオケ一番館	<p>(目的) 健康づくりや社会交流の拡大を目的に実施。また、地域の松風学園の入所者も参加され、地域での障がい理解を図る。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいカラオケ（交流） ・健康づくり（発声・姿勢 等） 	毎月第4金曜日 12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食グループ かぼちゃの会	<p>(目的) 一人暮らしの高齢者や障がいのある方を対象にお弁当を作り、届けている。また、一番館ひろば利用者にも提供。バランスのよい食事の確保と季節感を感じられるよう手紙を添えて実施</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス ・配食時における安否確認 ・一番館ひろばへの食事提供 	毎週金曜日 （8月・特別日を除く） 計40回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あやめサークル	<p>(目的) 講師の指導により、を通じ、健康づくり・社会交流を図る。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体操・ダンス・レクリエーションの実施 	毎月第1・2・4木曜日 （特別日を除く） 計28回実施

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会 会食会	<p>(目的) 日頃お世話になっている「かぼちゃの会」や「一番館ひろば」のボランティアの慰労会をかねた交流会を開催</p> <p>(内容) ・食事と披露団体による披露</p>	年2回 7月・12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
花と緑のケアプラザづくり事業	<p>(目的) ケアプラザの周囲にある花壇の整備を行う事で環境美化に努める。また、咲いた花は館内に活けて館内の雰囲気作りを目指す。</p> <p>(内容) ・ケアプラザ周囲の花壇の手入れ。</p>	年21回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
会場利用団体交流会	<p>(目的) 上飯田地域ケアプラザを会場として利用している団体の交流と情報交換を目的としている</p> <p>(内容) ・団体の活動P R・館内の大掃除</p>	年1回 12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい連絡会	<p>(目的) まだ地域活動に繋がっていない住民に向けた地域活動のP Rと担い手の発掘。上飯田地区で実施</p> <p>(内容) ・地域活動団体の紹介と担い手の発掘</p>	年1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一番館ひろば 8月食事会	<p>(目的) かぼちゃの会のお弁当が8月はお休みなので、一番館ひろばのボランティアと参加者が協力して昼食を準備して一番館ひろばを楽しむことで、夏の居場所、見守りを実施する。</p> <p>(内容) 調理自習をメインに活動</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジュニア フレンド 事業	<p>(目的) 泉区内在住で知的障害児者余暇支援を企画する事業。泉区内ケアプラザが順番に季節ごとの事業を企画している。毎月実行委員会を行っている。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会（情報交換 等） ・春・夏・冬 事業の実施 	春・夏 2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいき教室 支援事業	<p>(目的) 認知症予防を目的として小地域で開催されている脳いきいき教室のボランティアを対象にしたスキルアップ事業</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防教室支援事業の実施 ・担い手の後方支援・情報交換 	各地域で活動している脳行き教室でそれぞれ1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉祭り出展・ 協力事業	<p>(目的) 上飯田団地福祉祭り・いちょう団地福祉祭り・上飯田連合祭りに出展・協力し、ケアプラザの周知・拡大とともに福祉相談や地域福祉保健計画の普及支援を実施。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉相談の実施 ・模擬店の実施 ・地域福祉計画等、PR・意見集約 	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上飯田団地 いきいきサロン	<p>(目的) 上飯田団地における独居・高齢者の増加による見守り活動の推進。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上飯田団地見守り事業 	年4回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上飯田キャラバンメイト連絡会	<p>(目的) 上飯田地域における認知症理解・予防の普及・啓発に向け、連絡会の実施。</p> <p>(内容) ・上飯田キャラバンメイト連絡会（情報共有・勉強会・サポーター養成講座打ち合わせ等）の実施</p>	不定期 年1回 実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
明寿の会	<p>(目的) 高齢のため外出がおっくうになり、外部の人との交流が希薄になる高齢者を対象にしたサロン。</p> <p>(内容) ・手芸等、レクリエーション ・食事会 ・ゲームを入れての軽体操 等</p>	年6回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談事業及び介護予防啓発	<p>(目的) ケアプラザに遠いエリア内住民のために地域に出向いて相談業務を行う。同時に介護予防の情報提供をしながら、取り組むきっかけ作りを行う。また、二次予防事業対象者の把握をする。</p> <p>(内容) ・介護に関する相談 ・介護予防の情報提供 ・二次予防事業対象者把握 ・地域包括支援センター周知</p>	年3回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防講座	<p>(目的) 講座を通じて健康づくり・交流の機会を作る</p> <p>(内容) ・区内全域を対象に興味のある講座に参加できるよう5包括協働で連続して開催。</p>	5月～7月 5回コース実施

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及啓発強化事業	<p>(目的) 身近な地域で介護予防を意識し、具体的な取り組みを始めるきっかけとなる機会を提供する。 日常生活の中で身体状況に応じた介護予防活動を実践する高齢者が増えることをめざす。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に関する知識の習得 ・自ら介護予防に取り組むためのきっかけ作り ・介護予防リスクを有する二次予防対象者を把握し、継続して介護予防に取り組めるよう支援する。 ・担い手の育成及びスキルアップ支援 	5月～7月 4回コースで実施 担い手講習会 地域6カ所で実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一歩の会	<p>(目的) 在宅において自立した生活が送れるように、体操や運動を通じて体力及び筋力の維持・向上を図る。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒骨折予防体操の実施教室OB会 ・体力測定・講座を実施 	毎水曜日 (特別日を除く) 49回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
散歩クラブ	<p>(目的) 在宅において自立した生活が送れるように、体操や運動を通じて体力及び筋力の維持・向上を図る。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上プログラムOB会 ・体力測定・講座を開催し、意識を高める。 	毎月第1・3 土曜日 24回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康フェア 向友会	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の老人会が主催する健康フェアへの支援 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・体力作りに関する講座 	年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あじさいクラブ 上飯田	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動を通じて体力・筋力の維持向上を図る <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨガ・ストレッチ 	毎月第2木 第4水

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の散歩を楽しむ会 上飯田ウォーキング	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none">・ウォーキングを通して健康づくりと交流 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none">・上飯田の地域をのんびりお散歩	年2回
焼き芋	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none">・多世代交流及び障がい者と地域との交流 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none">・焼き芋大会開催	年1回